



報道関係 各位

2025 年 7 月 16 日

**資源保護について考えよう
香川県水産試験場で孵化した
イイダコの稚ダコを展示しています**



四国水族館（館長：松沢 慶将 所在地：香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁4）は、2025 年 7 月 9 日（水）から、本館棟 1 階瀬戸内ゾーンにてイイダコの展示を開始しました。

展示しているイイダコの稚ダコは、天然の親ダコが産んだ卵を香川県水産試験場で孵化させたものです。

香川県の食卓で親しまれているイイダコですが、2002 年には約 200 トン

あった香川県の漁獲量は、近年では 100 分の 1（約 2 トン）まで減っています。香川県水産試験場では、産卵床（貝殻に産み付けた卵と母イイダコ）の放流技術や、種苗生産技術の確立に向けて研究を続けています。2024 年には世界で初めてイイダコの完全養殖*に成功するなど、イイダコの飼育技術は着実に進歩しており、生産した稚ダコは、地元漁協者と協力しながら、海に放流するなど、減少した資源の回復を目指し取り組んでいます。

香川県の取り組みを知っていただくと共に、資源保護についても一緒に考えてみませんか。

* 完全養殖とは人工的にふ化させ飼育した親ダコが産んだ卵を再びふ化させること。

【イイダコの展示について】

展示開始日：2025 年 7 月 9 日（水）

場所：本館棟 1 階 瀬戸内ゾーン

※生きものの状況により、予告なく展示を変更または中止する場合があります。

【イイダコについて】

マダコ科。体長 5～20 センチほどの小型のタコ。産卵期前になるとメスの胴に長円形の卵が詰まり、米粒のように見えることから「飯（イイ）ダコ」と呼ばれる。



イイダコの稚ダコ

<本件に関するお問い合わせ>

四国水族館 担当：片山、山村

TEL：0877-49-4590/4598 FAX：0877-49-4600 Email：koho@shikoku-aquarium.jp